

三菱電機
設備用パッケージエアコン
別売品
ベーパーパン加湿器
形名
PAC-CB11VP

もくじ	ページ
安全のために必ず守ること	4
1. 使用部品	8
2. 使用箇所（取付作業の概要）	11
3. ベーパーパン加湿器の設置	12
4. 配管・電気工事	15
5. 取付作業後の確認	20
6. 試運転	21
7. お客様への説明	22

取付説明書（販売店・工事店様用）

- このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付作業が必要です。取付作業の前に、この説明書を必ずお読みください。
- ご使用前に、この取付説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。この取付説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要なときお読みください。
- 「取付説明書」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では、取付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

もくじ

	ページ
安全のために必ず守ること	4
1. 使用部品	8
1-1. 同梱部品	8
1-2. 一般市販部品	10
2. 使用箇所 (取付作業の概要)	11
3. ベーパーパン加湿器の設置	12
3-1. 準備	12
3-2. 製品本体への取付け	13
4. 配管・電気工事	15
4-1. 配管要領	15
4-2. 配線要領	17
4-2-1. コントロールボックス、リレーの 取付けと制御箱カバーの取外し	17
4-2-2. 各部品の配線	18
4-3. 制御箱カバー、前パネルの取付け	19
5. 取付作業後の確認	20
5-1. 取付作業のチェックリスト	20
6. 試運転	21
6-1. 試運転の準備	21
6-2. 試運転要領	21
7. お客様への説明	22
7-1. お願い事項	22

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り付けてください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。



警告

電気配線工事は「第一種電気工事士」の資格を保有する者が行うこと。

一般事項



警告

改造はしないこと。

- ◆水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

掃除・整備・点検時は、運転を停止して、すべての関連ユニットの主電源を切ること。

- ◆けが・感電のおそれあり。



指示を
実行

運転中および運転停止直後は、以下の部品に素手で触れないこと。

- ◆本品・ペーパーパン本体・ヒーター本体・スプレー本体
- ◆冷媒配管・冷媒回路部品



接触禁止

- ◆低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- ◆異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を
実行

電気部品に水をかけないこと。

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ
禁止

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ◆ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を
実行

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- ◆感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手
禁止

注意

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆ 運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



禁止

部品端面や熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ◆ けがのおそれあり。



接触禁止

作業する場合は保護具を身に付けること。

- ◆ けがのおそれあり。



指示を
実行

水回路の温度が0℃以下になるところに加湿器を設置しないこと。

- ◆ 水回路凍結によりユニットが損傷するおそれあり。
- ◆ 水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



指示を
実行

運搬・取付作業をするときに

注意

20kg以上の製品の運搬は、1人でしないこと。

- ◆ けがのおそれあり。



禁止

取付作業をするときに

警告

梱包材は廃棄すること。

- ◆ けがのおそれあり。



指示を
実行

取付部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用すること。

- ◆ 当社指定部品を使用しないと、事故のおそれあり。



指示を
実行

梱包材は破棄すること。

- ◆ 窒息事故のおそれあり。



指示を
実行

付属品の装着や取り外しを行うこと。

- ◆ 不備がある場合、冷媒が漏れ、酸素欠乏・発煙・発火のおそれあり。



指示を
実行

取付作業は、販売店または専門の工事店が実施すること。

- ◆ 間違った取り付けは、事故のおそれあり。
- ◆ お客様ご自身での取り付けは、事故のおそれあり。



指示を
実行

配管工事をするとき

警告

現地配管が部品端面に触れないこと。

- ◆ 配管が損傷し、蒸気・温水が漏れ、火傷、水漏れのおそれあり。



フレアナットは規定のトルクで締めること。

- ◆ 損傷により蒸気・温水が漏れ、火傷・水漏れのおそれあり。



注意

配管は断熱すること。

- ◆ 結露により、天井・床がぬれるおそれあり。



コーキングをすること。

- ◆ 不備がある場合、床がぬれるおそれあり。



電気工事をするとき

警告

電源用端子台に単線とより線や異なったサイズの配線を併用して使用しないこと。

- ◆ 使用した場合、ねじ緩み・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。



取付作業をする場合、主電源を切ること。

- ◆ けが・感電のおそれあり。



配線が冷媒配管・部品端面に触れないこと。

- ◆ 配線が接触した場合、漏電・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



電気工事は、第一種電気工事士の資格所持者が以下に従って行うこと。

- ◆ 電気設備に関する技術基準
- ◆ 内線規程
- ◆ 取付説明書



配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

- ◆ 伝わった場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



以下の正しい容量の遮断器を使用すること。

- ◆ 漏電遮断器
- ◆ ヒューズ（開閉器＋B種ヒューズ）
- ◆ 配線用遮断器



端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- ◆ 発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



- ◆ 大きな容量の遮断器を使用した場合、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

配線端子のねじは規定のトルクで締めること。

- ◆ ねじ緩み・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。



電源配線には、電流容量などに適合した規格品の配線を使用すること。

- ◆ 漏電・発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。



移設・修理をするときに

警告

分解・改造はしないこと。移設・修理は販売店・専門業者に依頼すること。

- ◆冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ◆ショート・感電・故障・火災のおそれあり。



接触禁止

修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

- ◆不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。



指示を
実行

1. 使用部品

警告

掃除・整備・点検時は、運転を停止して、すべての関連ユニットの主電源を切ること。

◆けが・感電のおそれあり。



指示を
実行

梱包材は破棄すること。

◆窒息事故のおそれあり。



指示を
実行

梱包材は廃棄すること。

◆けがのおそれあり。



指示を
実行

注意

作業する場合は保護具を身に付けること。

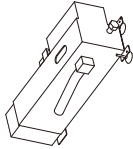
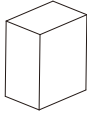
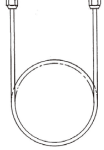
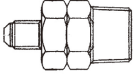

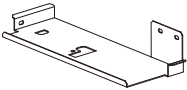
◆けがのおそれあり。



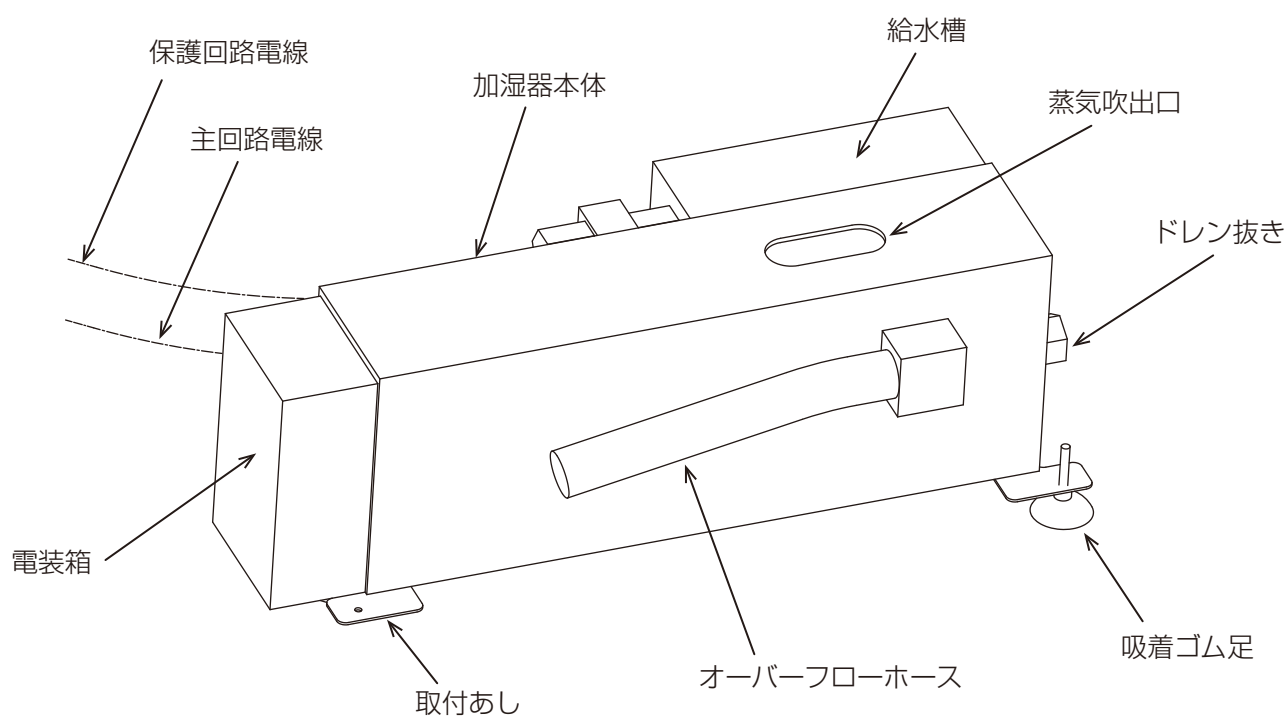
指示を
実行

1-1. 同梱部品

この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので確認してください。

No.	品名	形状	個数	備考
D-1	ペーパーパン加湿器		1	
D-2	コントロールボックス		1	
D-3	両端フレアナット付銅管		1	1000 mm
D-4	ストレーナ付ハーフユニオン		1	7/16-20UNFXR1/2
D-5	サポート板		1	
D-6	取付板		1	

No.	品名	形状	個数	備考
D-7	バインドねじ		5 (予備1含む)	取付板への固定用 呼び：M5X10
D-8	タッピンねじ		4 (予備1含む)	取付板固定用 呼び：5X10
D-9	タッピンねじ		4 (予備1含む)	コントロールボックス取付用 呼び：4X10
D-10	ゴムブッシュ		2	SG-26A
D-11	ケーブルクランプ		1	NK-10N
D-12	保護チューブ		1	熱収縮チューブ 1000mm
D-13	リレー組立		1	
D-14	タッピンねじ		3 (予備1含む)	リレー取付用 呼び：3.5X10
D-15	リード線		1	3000mm
D-16	結束バンド		5	



1. 使用部品

ペーパーパン加湿器を取付ける際は、以下に示す梱包材を取外してください。

- 製品、配線を包装しているポリ袋
 - 養生テープ等
 - 段ボール等の紙製の緩衝材、スペーサー
 - 発泡スチロール等の樹脂系の緩衝材、スペーサー
-

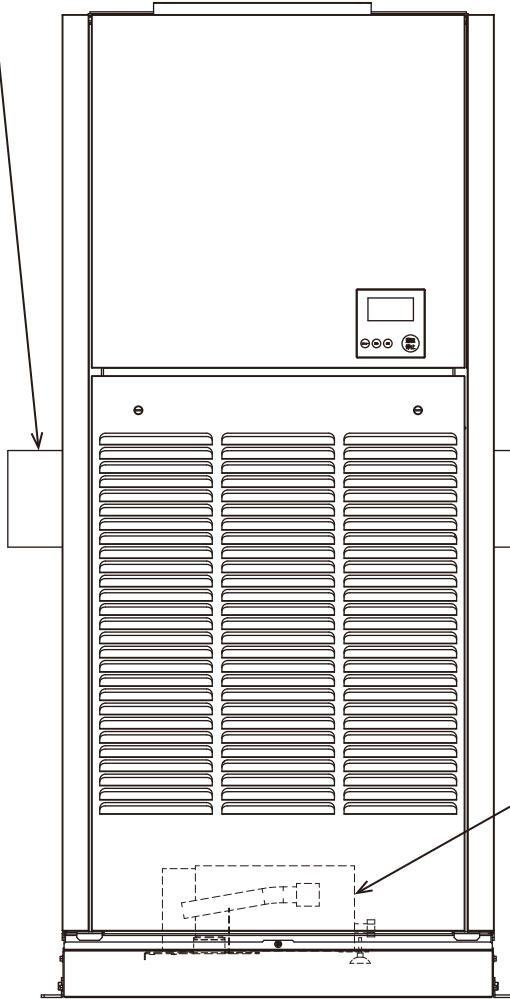
1-2. 一般市販部品

No.	部材	個数
S-1	ストップバルブ	1
S-2	湿度調節器 (23HS)	1
S-3	シールテープ	相当量

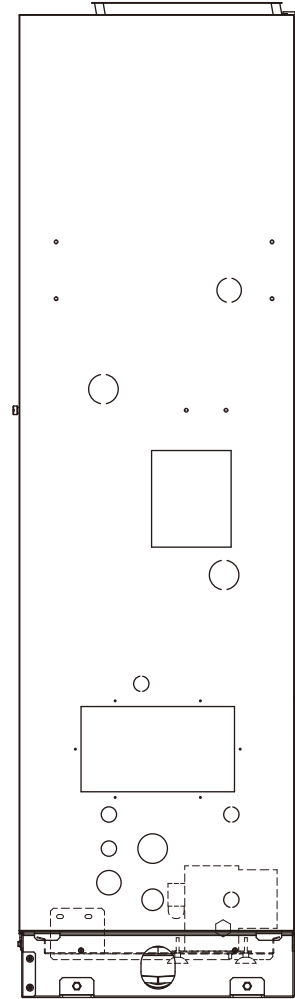
2. 使用箇所 (取付作業の概要)

コントロールボックス
(左取出し時)

コントロールボックス
(右取出し時)



ベーパーパン
加湿器



3. ベーパーパン加湿器の設置

警告

改造はしないこと。

- ◆ 水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

梱包材は廃棄すること。

- ◆ けがのおそれあり。



指示を
実行

梱包材は破棄すること。

- ◆ 窒息事故のおそれあり。



指示を
実行

取付部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用すること。

- ◆ 当社指定部品を使用しないと、事故のおそれあり。



指示を
実行

付属品の装着や取り外しを行うこと。

- ◆ 不備がある場合、冷媒が漏れ、酸素欠乏・発煙・発火のおそれあり。



指示を
実行

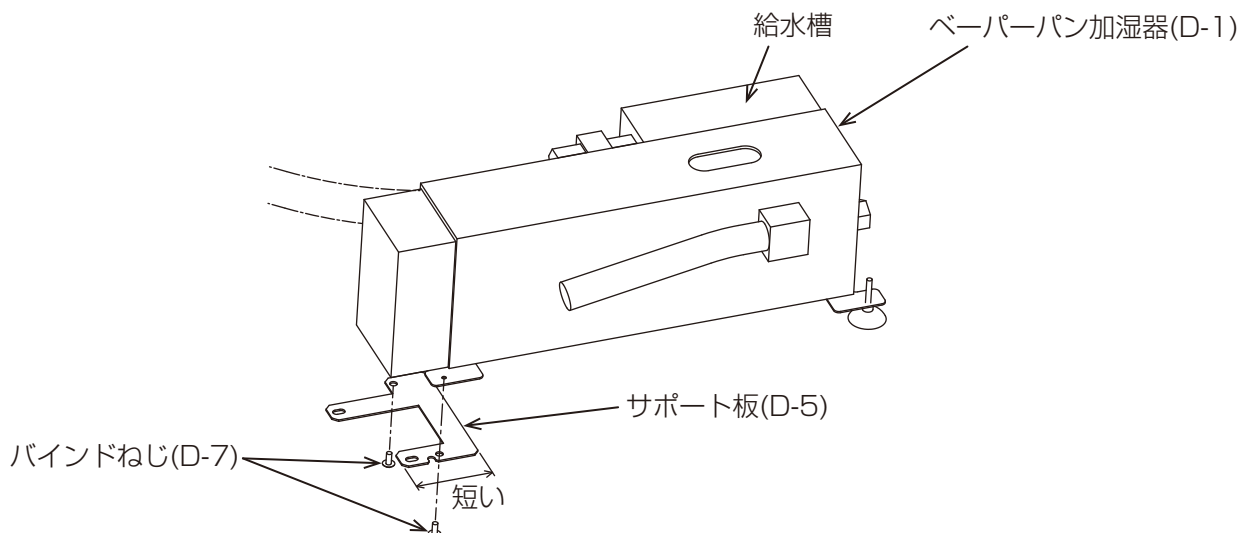
お願い

- ◆ 据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。
工具が適切でない場合、機器損傷のおそれがあります。

3-1. 準備

手順

1. ベーパーパン加湿器 (D-1) にサポート板 (D-5) をバインドねじ (D-7) 2本で固定する。
2. 給水槽内のフロート押さえスチロールを取り去る。

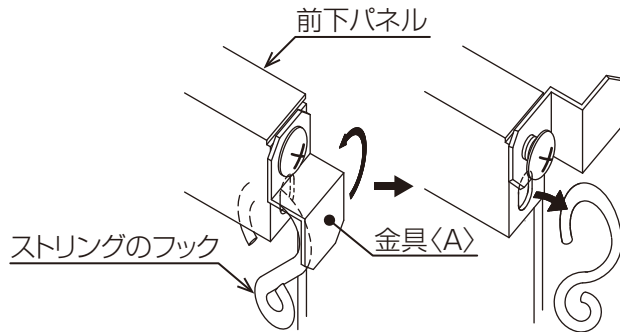


3-2. 製品本体への取付け

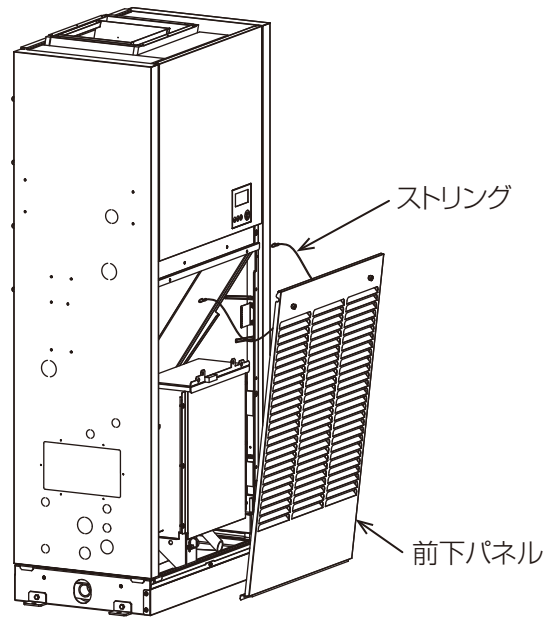
手順

1. 製品本体と前下パネルに取付いているストリング(左右2本)のフックを取外した後、前下パネルを製品本体から取外す。

※ 前下パネル付属の金具「A」のねじを緩めて90°回してからストリングを外してください。

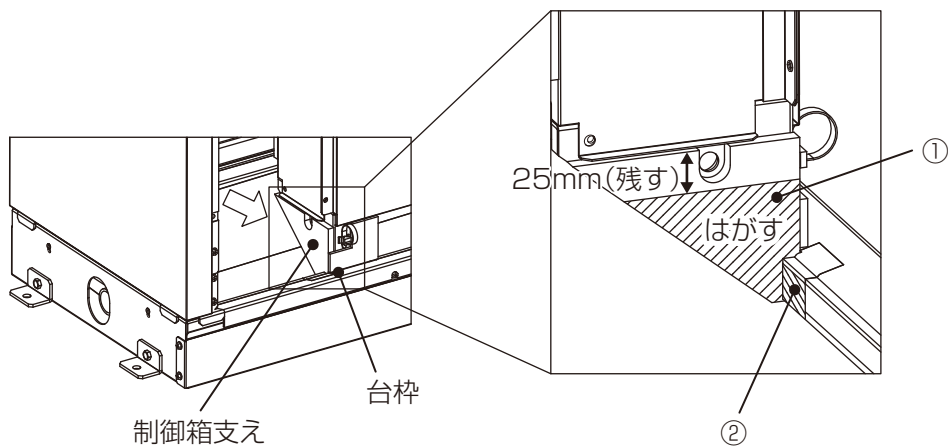
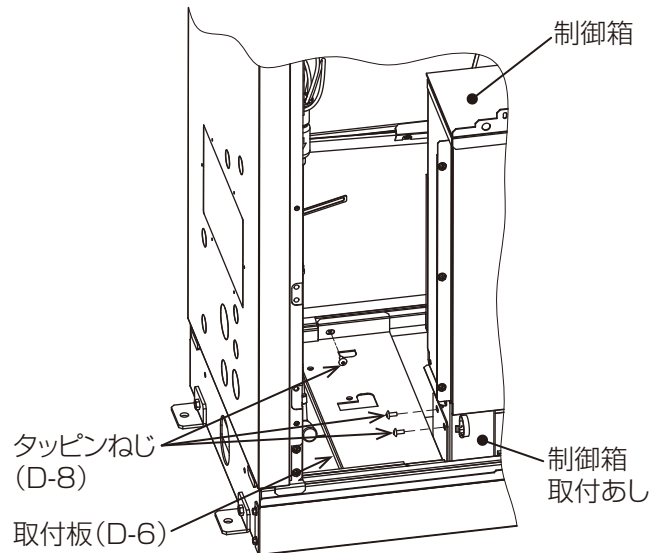


金具<A>のねじを緩め90°回してストリングを外す。



2. 取付板(D-6)を台枠に乗せ、制御箱取付あしに突き当て、タッピンねじ(D-8) 3本で固定する。

※ 本体ユニットの制御箱支えおよび台枠に断熱材が貼付けられている場合、断熱材①および②の2枚をはがしてください。



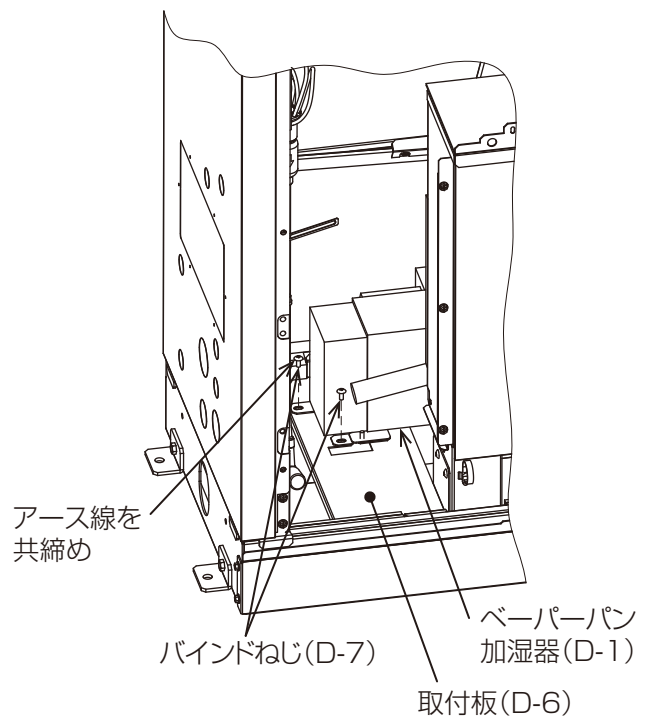
①は上側25mmを残し
下側を全てはがしてください

3. ベーパーパン加湿器の設置

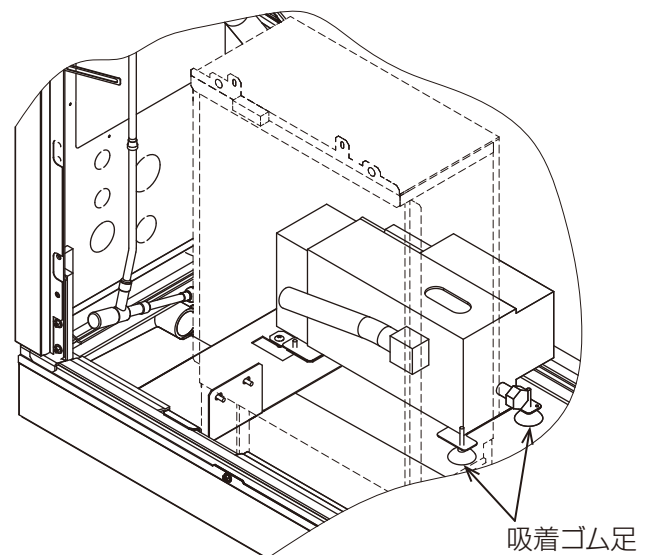
3. 3-1 項で取付けたサポート板 (D-5) が左側にくるように、ベーパーパン加湿器 (D-1) を取付け板 (D-6) に乗せ、バインドねじ (D-7) 2 本で固定する。

※ このとき、ベーパーパン加湿器からのアース線も共締めしてください。

※ オーバーフローホースはドレンパン排水口の近くへ導き、下向きとなるようにしてください。



4. 吸着ゴム足を浮かし、調整ねじを回してゴム足の高さを調整し、ベーパーパン加湿器が水平になるようにする。(勾配 1/100 以内)



4. 配管・電気工事

4-1. 配管要領

警告

現地配管が部品端面に触れないこと。

- ◆ 配管が損傷し、蒸気・温水が漏れ、火傷、水漏れのおそれあり。



接触禁止

フレアナットは規定のトルクで締めること。

- ◆ 損傷により蒸気・温水が漏れ、火傷・水漏れのおそれあり。



指示を
実行

注意

配管は断熱すること。

- ◆ 結露により、天井・床がぬれるおそれあり。



指示を
実行

コーキングをすること。

- ◆ 不備がある場合、床がぬれるおそれあり。



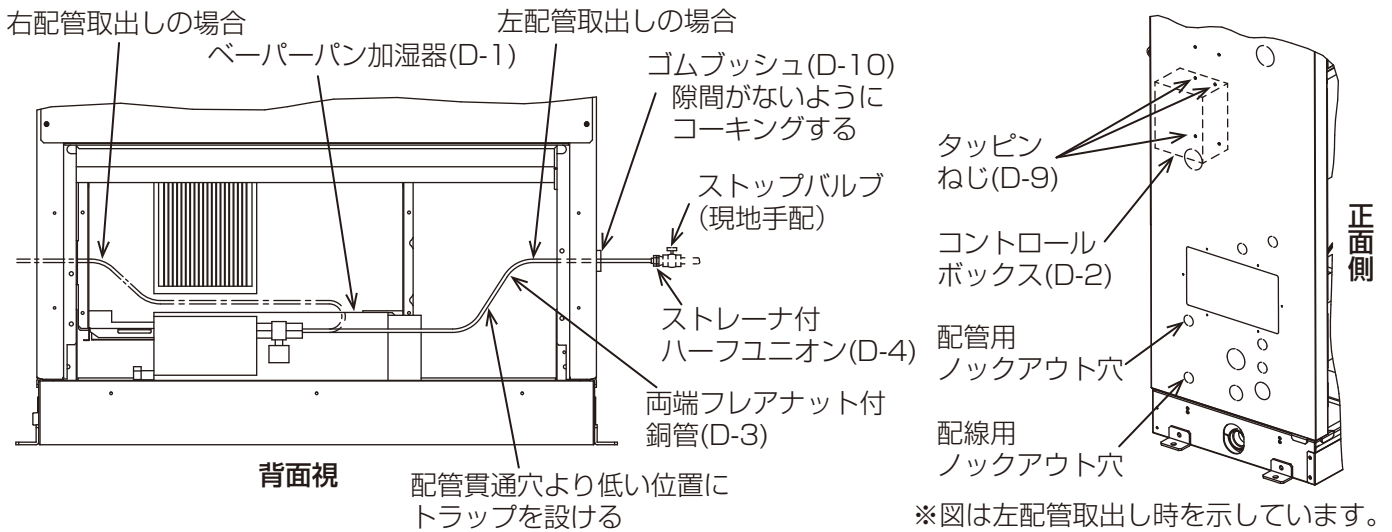
指示を
実行

お願い

- ◆ ストップバルブ（現地手配）を設けてください。また、必要以上に加湿しないように湿度調整器（23HS）（現地手配）を使用し、適切な湿度に設定してください。

手順

1. 配管の取出し方向を確認し、製品本体サイドパネルの配管用ノックアウト穴を打ち抜き、ゴムブッシュ(D-10)を取付ける。
 ※ 打ち抜く際はパネル内側の断熱材の切残し部をカッターで切離し、断熱材が破損しないように打ち抜いてください。
2. 両端フレアナット付銅管(D-3)、ストレーナ付ハーフユニオン(D-4)を使用して配管接続する。
 ※ 両端フレアナット付銅管(D-3)は配管貫通穴より低い位置(機内側)でトラップを設けてください。
 ※ 各部の締付けはダブルスパナでしてください。(締付トルク…14～18N・m)
 ※ ストレーナ付ハーフユニオン(D-4)のテーパねじ部にはシールテープ等のシール材を使用してください。
 ※ ストレーナ付ハーフユニオン(D-4)の現地配管側は7-1項9)の図(23ページ)に示す通水部(←部)をふさがないように施工してください。
 ライニング管で施工する場合、接続側の形状によっては通水部をふさぐものがあります。



4-2. 配線要領

警告

電源用端子台に単線とより線や異なったサイズの配線を併用して使用しないこと。

- ◆ 使用した場合、ねじ緩み・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。



禁止

配線端子のねじは規定のトルクで締めること。

- ◆ ねじ緩み・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を
実行

配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

- ◆ 伝わった場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を
実行

電気工事は、第一種電気工事士の資格所持者が以下に従って行うこと。

- ◆ 電気設備に関する技術基準
- ◆ 内線規程
- ◆ 取付説明書



指示を
実行

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- ◆ 発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を
実行

- ◆ 施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

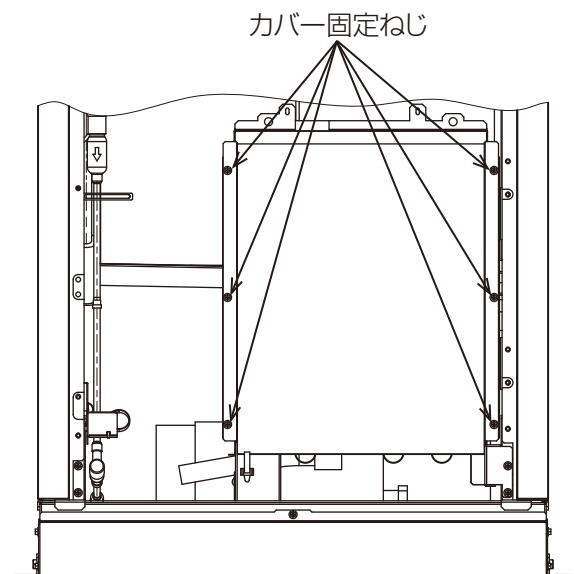
お願い

- ◆ 電源配線には専用回路を使用してください。使用しない場合、電源容量不足のおそれがあります。
- ◆ 設備の重要度により電源系統を分割するか漏電遮断器・配線用遮断器の保護協調を取ってください。製品側の遮断器と上位の遮断器が共に作動するおそれがあります。

4-2-1. コントロールボックス、リレーの取付けと制御箱カバーの取外し

手順

1. 配線の取出し方向を確認し、製品本体サイドパネルの配線用ノックアウト穴を打ち抜き、ゴムブッシュ(D-10)を取付ける。
(4-1 項の図参照 (16 ページ))
※ 打ち抜く際はパネル内側の断熱材の切残し部をカッターで切離し、断熱材が破損しないように打ち抜いてください。
2. 配線の取出し方向を確認し、製品本体サイドパネルにコントロールボックス(D-2)をタッピンねじ(D-9) 3本で取付ける。
(4-1 項の図参照 (16 ページ))
3. 製品本体下にある制御箱カバーの固定ねじ6本を外してカバーを取外す。
4. リレー組立(D-13)を4-2-2 項の図(18 ページ)の位置にタッピンねじ(D-14) (2本) で固定する。

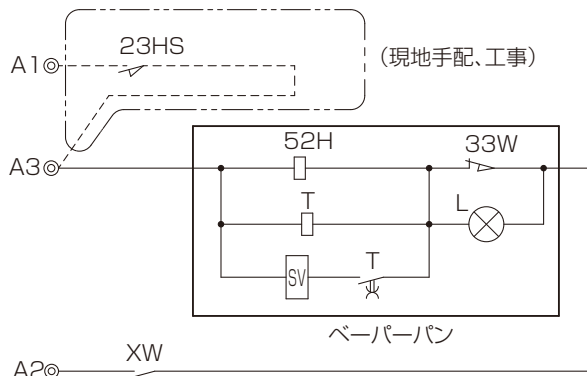
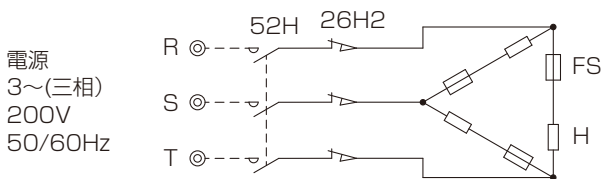
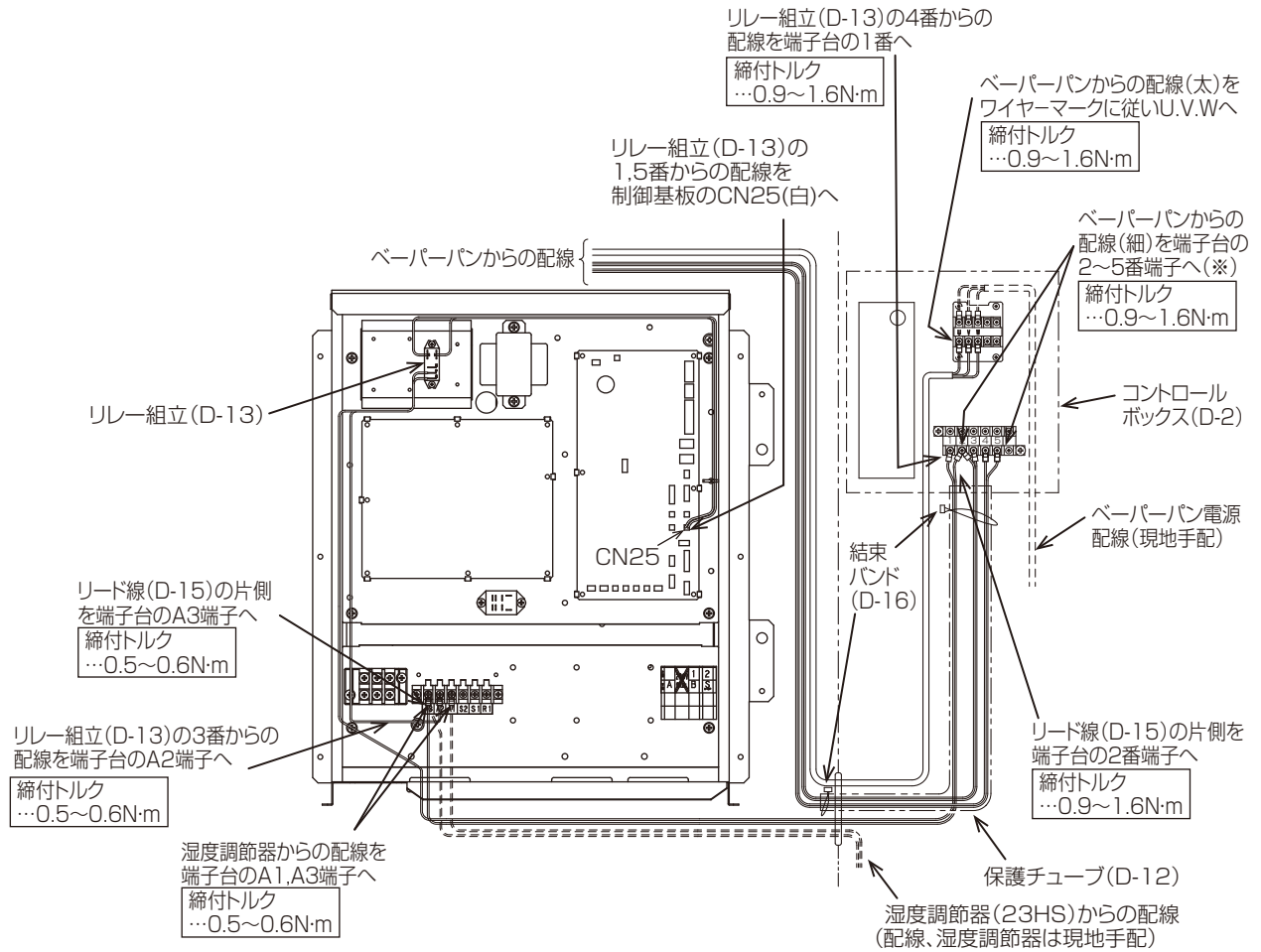


4-2-2. 各 부품の配線

(締付ねじに、緩みがないようにしてください。)

手順

1. 各配線を下図を参照に接続する。

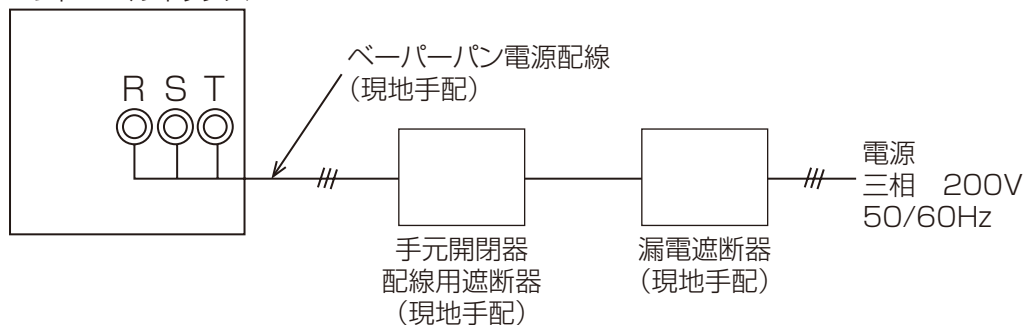


室内基板のSW3-5をOFF→ONにしてください。

	記号	名称	備考
ペーパーパン加湿器	52H	電磁接触器	別売付属
	26H2	サーマルカットアウト	別売付属
	FS	温度ヒューズ	別売付属
	H	シーズヒーター	別売付属
	23HS	湿度調節器	現地手配
	T	タイマー	別売付属
	SV	電磁弁	別売付属
	L	断水ランプ	別売付属
	33W	断水スイッチ	別売付属
	XW	補助継電器	別売付属

- ※ 湿度調節器 (23HS) を使用しない場合は、端子台の A1 と A3 を短絡してください。(配線は現地手配) ただし、その場合は必要以上に加湿されることがあります。
- ※ 製品本体配線穴から、コントロールボックスまでの機外配線 (ベーパーパン主回路配線は除く) は保護チューブ (D-12) を通し接続してください。
- ※ ベーパーパン本体からの配線、および「制御配線の余りは、結束バンド (D-16) を用いて制御箱の裏で束ねてください。
- ※ ベーパーパン電源配線には、漏電遮断器を取付けてください。
- ※ 漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器または配線用遮断器を組合わせて使用してください。(下図参照)

コントロールボックス



- ※ ベーパーパン電源配線に当たっては、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従ってください。
- ※ 電線太さおよび開閉器容量は、下表を参照してください。

電線太さ	最大こう長※1	漏電遮断器 ※2	手元開閉器		配線用遮断器
			開閉器容量	過電流保護器	
2.0mm ²	18m	20A NV30-C (当社)	15A	15A (B種ヒューズ)	20A NF30-C <2.5kA> または NF30-S <5kA> (当社)

※1 最大こう長は電圧降下2%時の最大こう長を示します。

※2 漏電遮断器は定格速度30mA 0.1s以下を使用してください。

2. 室内基板のSW3-5をOFF→ONにする。

※ ONにすることにより、ユニット停止後、ベーパーパン本体からの残留水蒸気を排出させるため、ユニット運転スイッチをOFFにしてから3分間送風機残留運転を行います。

3. サーモOFF時 (冷房・暖房) に加湿器をONさせる場合は室内基板のSW1-6をOFF→ONにする。また、リモコンの機能設定No.25の設定値を“3”に、No.27の設定値を“3”にする。

※ サーモOFF時にも加湿器をONする設定で使用した場合、周囲条件によっては、加湿器からの蒸気が結露し、機外に露が飛び出る場合があります。使用する際は、気を付けてください。

4. 冷房加湿を行う場合は、リモコンの機能設定No.99の設定値を“2”にする。

4-3. 制御箱カバー、前パネルの取付け

すべての作業が完了しましたら、下記の要領で取外した部品を元どおり取付けてください。

手順

1. 制御箱カバーを元どおり取付ける。(4-2-1 項の図参照 (17ページ))
2. 前下パネルを取外しと逆の手順で取付ける。(3-2 項の図参照 (13ページ))

5. 取付作業後の確認

取付作業が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。
不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。)

5-1. 取付作業のチェックリスト

点検項目	点検内容	点検結果
設置・取付け	部品の取付け忘れはありませんか	
	ねじに緩み、締め忘れはありませんか	
	梱包材の取外し忘れはありませんか	
電気回路	端子部などのねじに緩み、締め忘れはありませんか	
	漏電遮断器を使用していますか	
	配線が配管や部品端部に接触していませんか	
	アースは規定どおり正しく配線されていますか	

6. 試運転

警告

運転中および運転停止直後は、以下の部品に素手で触れないこと。

- ◆ 本品・ペーパーパン本体・ヒーター本体・スプレー本体
- ◆ 冷媒配管・冷媒回路部品
- ◆ 低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



接触禁止

注意

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆ 運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



禁止

お客様立会いで試運転を行ってください。

6-1. 試運転の準備

ストップバルブの栓を開いて、加湿器へ給水してください。

6-2. 試運転要領

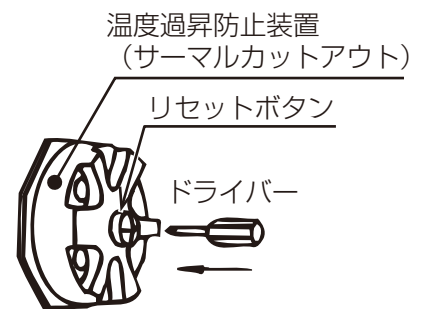
- 1) リモコンをONにして暖房モードとしてください。
- 2) 配管接続部より漏れがないか確認してください。
- 3) ペーパーパン本体へ給水されることを確認してください。
- 4) 加湿されていることを確認してください。(必要に応じて23HSを短絡させてください。)
- 5) 23HSを短絡させた場合は元に戻してください。

7. お客様への説明

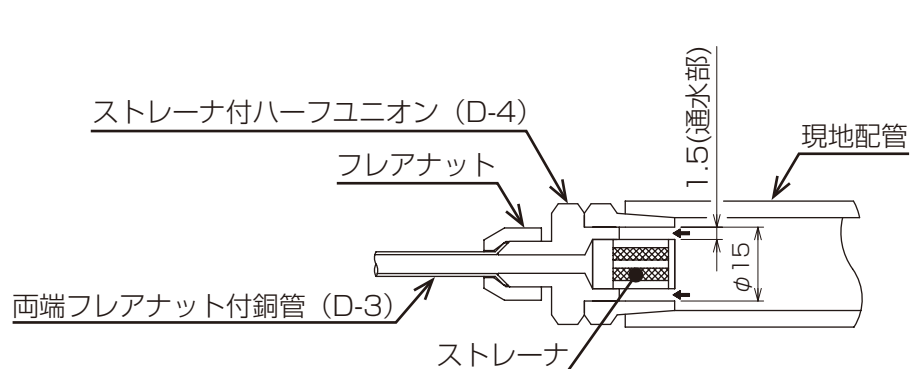
- この取付説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。
とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- お使いになる方が不在の場合は、オーナー様や建物の管理人様などにご説明ください。
- この取付説明書は、取付け後、お客様にお渡しください。
- お使いになる方が代わる場合は、この取付説明書を新しくお使いになる方にお渡しください。

7-1. お願い事項

- 1) 給水圧力は、0.03～0.5MPaとしてください。水温は0～80℃としてください。
- 2) 給水は市水または上水を使用してください。また、水道管に直接接続することはできません。
加湿用原水中の硬度が高い場合、軟水装置の設置をおすすめします。
軟水装置はイオン交換樹脂を使用し、原水中の硬度成分を除去する水処理装置です。水に溶解している成分のうち、陽イオンのカルシウム、マグネシウムの硬度成分を、ナトリウムに交換除去するものです。
この装置が一定の軟水を採取しますと交換樹脂は硬度成分によって飽和状態となります。その時は交換樹脂を食塩水で洗浄して再生します。再生時には1.5～2時間かかりますので連続給水が望まれる処では貯水槽を備え水源で送水するようにします。
さらに加湿の品質を高める純水装置の設置を検討してください。
- 3) 運転期間中は定期的にペーパーパンからの噴霧状態・各配管部からの水漏れ有無などを点検してください。
- 4) このペーパーパンは加湿運転が合計5時間に達すると、自動的にオーバーフローし、濃縮された水を排出させスケール(カルシウム固着)の発生を抑制させております。しかしスケールの付着は完全にはなくなりません。このため、1シーズン(1400時間位)に1回は蒸発槽のフタをあけてスケールを排出してください。
- 5) 長期にわたり使用しない場合は、ドレン抜きから水を抜いてください。(1-1 項の図参照(9ページ))
- 6) 給水パイプから水が出なくなったり、水の出が悪くなった場合は9)の図(23ページ)の要領でストレーナを清掃してください。
- 7) ペーパーパンが作動しなくなった場合は、電装箱をあけて(ねじ4本)温度過昇防止装置(サーマルカットアウト)を調べてください。働いているとリセットボタン(青色)が少し飛び出しています(2～3mm)。異常を確認し正常にした後にドライバーの先でリセットボタンを押し込みリセットしてください。(1-1 項の図(9ページ)、右図参照)
※ 温度過昇防止装置(サーマルカットアウト)が作動している場合は、主にペーパーパン加湿器の断水スイッチの故障か蒸発槽内のスケールたまりが考えられます。
- 8) 夜間等ユニット停止時に凍結するおそれのある場合は、適切な凍結防止処置を施してください。



- 9) 水質や使用条件によってはユニット内部の金属製部品が錆びることがありますので、加湿シーズン前後に確認し、錆がある場合は除錆剤や研磨などで錆を除去してください。
除錆剤をご使用される場合は、除錆剤に記載の使用説明に従ってください。
また錆除去後は塗装などの防錆処理を施してください。



- 通水部をふさがないように現地配管の施工をしてください。
- フレアナットをゆるめ両端フレアナット付銅管 (D-3) を外しストレーナ付ハーフユニオン (D-4) にはめ込まれているストレーナを外して水洗いしてください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2018年1月作成

WT08559X02